

若者がつくる広報ニューしすい

YOUNG EYES

2016

第5号



観光レンタサイクルを運営する「酒々井町レンタサイクルの会」のみなさんと

ーサイクリングで町の魅力を再発見

観光レンタサイクルが始まりますー

4月から京成酒々井駅東口駐輪場を発着点とした、観光レンタサイクルが始まるということで、Young Eyes 編集メンバーたちが、一足早く現場を訪ね、「酒々井町レンタサイクルの会」の方々にお話を伺ってきました。詳しくは3ページでご紹介します。



私たちが届けます 元気な酒々井

広報ニューしすいYoung Eyes編集委員 中台陽一郎 北岡未由 杉山紗英 中村紗基

◆発行・編集／酒々井町企画財政課 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043 (496) 1171



少子高齢化の要因の一つに若者の「晩婚化」があるといわれる中、昨年12月に町で初めて地域住民の力で婚活イベントが開催されるという嬉しいニュースがありました。そこで、このイベントを企画・主催された「酒々井宣伝部」代表の重定賢治さんに準備時のご苦労や、当日の様子などについてお話を伺いました。

北岡 企画を進めるにあたりご提案型を利用しました。

重定 画運営費の確保については、町の住民公益活動支援事業（課題を立ち上げて計画しました。企画運営費の確保については、町の住民公益活動支援事業（課題

北岡 昨年12月上旬に町で初なる婚活イベントを企画開催されましたが、きっかけをお聞かせください。



イベントについていろいろと語っていただいた重定さん（中央）

重定 町経済の活性化も図れたらとの思いもありましたので、企画に賛同して協力をいただいた町内の飲食店の料理を昼食のメ

北岡 これも何か狙いが？

重定 料理が提供されていましたが、これも何か狙いが？

北岡 今回、会場とされた(株)飯沼本家さんの明治蔵はいかがでしたか。

重定 魅力的を感じて、(株)飯沼本家さんにご相談したところ早く明治蔵という蔵を会場にご提供いただきました。また、当日は酒蔵の方の説明をもらいながら酒造施設を見学させていただきました。

北岡 参加された方にも好評で、町内観光資源のPR効果もあつたと思えます。

重定 参加して楽しかったか。

北岡 イベント後に参加者から何か感想等ありましたか。

重定 「参加して楽しかった」、「酒蔵を初めて見た」、「昼食を提供されたお店に行つてみます」、「次回も企画してください」等々、嬉しいお話をいただきました。

北岡 最後に、このイベントを企画実行された感想と、今後の予定等がありましたら教えてください。

重定 まずは、今回のイベントが無事に終了できたことにホッとしています。また同時に、多くの方々のご協力にも感謝が絶えません。「若者の交流の場」を提供できたことは大変有意義で良かったと感じている一方で、人材の確保と、互いの協力体制の整備に重要性を感じました。今後、再度イベントを実施するかは未定ですが、町の若者



イベントの運営に参加されたスタッフのみなさん

重定賢治さんのご紹介
町内在住、現在は、町内の事務所で営むファイナンシャル・プランナー事務所
FPオフィス「海援隊」代表

私たちを盛り上げていくために、メンバーたちと検討したいと思っています。

観光レンタサイクル 4月2日(土)オープン

黄色のベストがお似合いの「酒々井町レンタサイクルの会」のみなさん。現在は開業準備に余念がなく、毎日集まって相談・準備に奔走されていました。(写真前列中央は会長の深水さん)



黄色いベストと赤いのぼりが目印の会員のみなさん

中台 「酒々井町レンタサイクルの会」のみなさんが観光レンタル事業を4月から始めるとのことですが、どのようなきつかったですか？

深水 私達「酒々井町レンタサイクルの会」のメンバー(6人)は、しすい青樹堂の一期生で、みんなで学んだことを生かし、町の地域活性のために何か出来ないかと相談していた中で、「サイクリングで町の魅力を再発見してもらおう」、「サイクリングは健康にも良い」、「飯積地区の

大型商業施設がオープンして以来、電車を使って町を訪れる方も増えているので、折角だからサイクリングで町を周遊してもらいながら、店舗や名所などに立ち寄ってもらおう」等の意見が出て、それじゃ、やってみようかという話になったわけですね。

中台 お話が出て、実際行動に移されるのはなかなか大変です。

深水 大変なのはわかっていますが、メンバーみんなが何かし

たいという気持ちが強いのだと思いますね。

中台 実際の利用方法を教えてくださいませんか。

深水 貸し出し場所は、京成酒々井駅東口に隣接の町営駐輪場です。営業日・営業時間は、当面は土・日・祝日(年末、年始除く)の9時~16時30分です。利用料金はひとり1日、500円です。車両台数は5台でスタートします。

中台 ところで、サイクリングコースについては、どのようなコースを設定されていますか？

深水 利用者に配布する酒々井サイクリングマップを作りました。コースは3コースで①桜の花見コース、②本佐倉城跡・宗吾霊堂コース、③まがり家・アウトレットコースです。1時間30分から2時間程度のコース設定をしました。

中台 サイクリングマップには町内の名所やお店の情報もあるようですが？

深水 利用者には町内にある名所等を訪ねながら、町の推奨品を取り扱っているお店にも立ち寄ってもらえるようにマップに場所を掲載しました。

中台 最後に抱負をお願いします。

深水 これから陽気も暖かくなり桜も咲きはじめます。

サイクリングをするには良い季節を迎えます。是非、友達や家族と一緒に電動アシスト付き自転車に乗って町の良さを知ってもらいたいと思います。



電動アシスト付で
軽快な乗り心地

少年野球を 指導して30余年

酒々井ジャガーズ代表

木村 和夫さんをたずねました

私たちのふるさと酒々井は昨年度、日本一古い歴史を保ち続けたまま町制施行125周年を迎え、町は、この節目に長年、町の発展に貢献されてきた方々に特別感謝状を贈呈しました。

今回は、その受賞者のお一人で、長年にわたり少年野球を指導されてきた、酒々井ジャガーズ代表の木村和夫さんにお話を伺いました。



中台 こんにちは。さっそくですが、木村さんは、いつ頃から指導を始められたのですか。私自身も小学生の時にジャガーズにお世話になりましたが、もうその時には監督で指導されていましたね。

木村 私が子どもたちの野球指導を始めてからもう30年以上が経ちました。とても長く感じますが、振り返るとあっという間でした。

中台 私は当時をよく覚えていて、木村さんのご指導は野球だけではなく、挨拶などの礼儀について厳しく指導されていた印象ですが、指導者としてのモットーをお聞かせいただけますか。

木村 打撃も守備もまた走塁もすべてにおいて、基本が大切と考えてきましたから、野球に関しては『基本を大切に』をモットーにしてきました。ですから普段の生活でいうと、『挨拶、返事』というのも、この『基本を大切に』ということと共通すると考えていますので、そこはしっかりできるように指導してきたつもりです。

中台 長い間には、色々な思い出があると思いますが、特に印象に残っているエピソードなどはありますか。

木村 エピソードというほどではありませんが、ある年のチームで、なかなか試合に出場できない頑張り屋の子がいました。その子がコツコツと努力を続けた結果、試合出場のチャンスをつかみ、試合で逆転の一打を放って、ついにはレギュラーまで勝ち取った。そんなヒーロー物語みたいな話の子がいました。今でも彼のひたむきな姿が印象的に残っています。

中台 指導者として、やりがいを感じるのはどのような時ですか。

木村 チームを巣立った子たちが中学生になってからもグラウンドに来て、「ジャガーズで教わった基本が全てです」と言ってくれた時は喜びとやりがいを感じますね。

中台 私的なことですが、私が6年生の時のチームは歴代の中で強かったですか？

木村 たしか、中台君はキャプテンでエースでしたね。もう少し頑張ってくれたらもっとたくさん勝てたかな…。と、いうのは冗談だけど、歴代のチームの中でもとてもバランスの良いチームだったと思いますよ。

中台 現在の少年野球の状況を聞かせてください。

木村 少子化の影響かと思うのですが、野球をやる子が減ってきましたね。県内でも以前より500～600人、チーム数も合併や解散などでかなり減少しています。そんな中、ジャガーズは現在13人で楽しく活動していますよ。

中台 少しさみしい気もしますね。そのような状況ですが、今後の少年スポーツの展望などお考えはありますか？

木村 今私は、町の社会教育委員として、社会教育に関する計画を立てたりする仕事をしていますので、少子化傾向にある中でも関係機関のみなさんと協力して、子供たちに夢を与えられるような時代に合った指導を続けていきたいと思っています。

中台 私もまた、練習が行われている酒々井小学校のグラウンドに行きたくくなりました。本日は、ありがとうございました。

